

WEBINAR FRIDAYS

新・胃X線撮影法の応用 ～非鉤状胃の攻略～

2022.02.18 Fri 18:00-19:00

バーチャルセミナールーム

お申し込み完了後に「バーチャルセミナールームの URL」を送付いたします。



お申し込みはこちらをスキャンまたはクリック
<https://www.fujifilm.com/jp/ja/healthcare/events/7383>

演者

重松 綾 先生

医療法人社団 こころとからだの元気プラザ 放射線科 科長

WEBINAR FRIDAYS ABSTRACT

2009年にNPO日本消化器がん検診精度管理評価機構より、「胃がんX線検診新しい基準撮影法マニュアル」、2011年に日本消化器がん検診学会より、「新・胃X線撮影法ガイドライン」が発刊され、全国的にも基準的な撮影法として普及しています。これらの基準的な撮影法は一般的には「鉤状胃」に対する撮影法と考えられており、規定された撮影体位は「鉤状胃」に対して胃壁側の網羅性を担保する体位設定となっております。

実際の検査では様々な胃形が病変存在し、それに対応するために、追加撮影や任意撮影を行うように明記されていますが、具体的にどのように撮影するかは規定されていないため、難しいと感じることが多いかと思えます。

また、2018年より全国労働衛生団体連合会（全衛連）が、「胃X線検査に関する精度管理調査」として、施設の評価も行っており、その中で「新・胃X線撮影法（対策型）（任意で決められた体位で撮影しても標的部位全体を網羅する事のできない胃）」の提出を求められております。

今回は特に「新・胃X線撮影法（対策型）（任意で決められた体位で撮影しても標的部位全体を網羅する事のできない胃）」に対しての理解、撮影のポイントについてお話いたします。

医療法人社団 こころとからだの元氣プラザ 放射線科

重松 綾

Join our next WEBINAR FRIDAYS

上部消化管検査 DRLs の考え方とその運用について

2022.02.25 Fri 18:00-19:00

演者 鷺見 和幸 先生 公益社団法人日本診療放射線技師会

備考

- 無料でご視聴いただけます。
- 視聴はライブストリーミング（当日のみ）に限ります。
- ウェビナー中のご質問やコメントを受け付けております。チャットボックスにて投稿ください。